労働環境改善スケジュール

				労働環境改善スケジュ	.ール									
作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	5月		6月	Lio	Loc		7月	8月	9月	10月	11月	12月以降	備考
防護養備 1 防護装備の適正化検討	(実 績) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 (予 定) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 **管理対象区域を3つのゾーンに区分し、各区分に応じた防護装備を 着用することで、作業時の負荷軽減による作業性の向上を図る	現場情		DS2マスク不要	を作業でのDS2マスクを着用しない	γ運用の定着、推進	<u> </u>		<u>+</u> +	<u> </u>	£	E	(維練実施)	
ヒュリマンエラー発生 防止 じゅん	(実 績) ・安全衛生推進協議会の開催:協力企業に対するヒューマンエラー発生的止の意識向上と基本動作の徹底等 (予 定) ・安全衛生推進協議会の開催:協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等	現境作		協力企業に対すると	ニューマンエラー発生防止の意識	向上と基本動作の徹底等								四半期毎に実施している不適合やヒュー エラーの分析結果を踏まえ、安全衛生推 協議会にて四半期に一回程度、協力企業 対しヒューマンエラー発生防止の意識向」 基本動作の徹底等を啓発
人 身 安 全 全 第編災害撲滅、全災き 発生状況の把握	(実 績) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催:災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等) ・熱中症予防対策の実施(4~10月) (予 定) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催:災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等)	市 港										111111111111111111111111111111111111111	(継続実施)	
4 長期健康管理の実施	・	現地			健康相談受付							111111111111111111111111111111111111111	(維練実施) 	
健康 管理 を患者搬送の迅速化	(実 績) ・1 F 救急医療室の2023年7月までの医師確保完了(固定医師18+ローテーション支援医師) (予 定) ・1 F 救急医療室の8~10月の勤務医師調整	楼 封 : : : : : : : :			F教急医療室の8~10月の勤務B				1F教急	医療室の11~	1月の勤務医師	添加整		
6 感染症対策の実施	・1 F 救急医療室の11~1月の勤務医師調整 (実 績) ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 (予 定) ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 (予 定)	現場作業			1F教急医療室7月までの医師では、1月1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1		最新工程反映		×	策終了時期即	整中	3		2023年5月7日現在、福島第一原子力発 所で働く社員及び協力企業作業員等によ て、新型コロナウイルス累計感染者数は 回公表値(4月26日現在)から1名(社員1) 増加し、1,783名(社員283名、協力企業作 員1,475名、取引先企業従業員3名、派造
7 作業員の確保状況とは元雇用率の実態把握	(実 績) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計 (予 定) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計	模 財 計 世 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	査依頼 作業員の確保状況(5月実終 地元雇用率(5月実績)につい	債/7月予定)と	業員の確保状況集約▼	作乳	作業員の確保状況[8] 戦員の確保状況(6月実 元雇用率(6月実績)	績/8月予定)と	元集約 ▽作業員の確 作業員の確保 地元雇用率(状況(7月実	責/9月予定)と			員2名)
埋、労働環境・就労実態に関する企業との取り組み	(実 績) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック・相談窓口への連絡(処遇・労働条件等)への対応 (予 定) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック・相談窓口への連絡(処遇・労働条件等)への対応	現場		労働環境・就労実態に関する	意見交換及び実態把握、解決策	の検討・実施・結果のフィー	ドバック						(維練支施)	

